

環境行動計画における「視点」について

重要課題への対応力強化の観点から、政府の環境基本計画等を踏まえ、以下の視点の見直しを実施。

旧「環境行動計画」

(1) 環境と経済・社会を統合的に向上させていくという視点を重視すべき

(2) 総合性・連携性という視点を重視すべき

(3) 人や企業の行動に働きかけるという視点を重視すべき

(4) 面的広がり・時間的広がりの視点を重視すべき

新「環境行動計画」(案)

(1) 環境と経済・社会を統合的に向上、**グリーン・イノベーション貢献**という視点を重視すべき
環境分野の技術革新による経済発展を目指す**グリーン・イノベーションの進展による環境と経済の持続的向上**(H24第4次環境基本計画)

- ・低炭素都市づくり推進による、高齢者が自立して暮らしていける環境や子育て世帯が安心して出産、育児ができる環境整備、行政サービスコストの適正化
- ・交通流対策による渋滞緩和、物流の効率化による運輸サービスの低コスト化
- ・生態系ネットワーク形成推進による、NPO等地域コミュニティの活性化
- ・省エネ・再生可能エネルギー、エコツーリズム、リサイクルポット施策推進等による関連産業の活性化
- ・交通、住宅・建築物、下水道、ICT分野等における省エネ・再生可能エネ等の技術革新、民間投資活性化

(2) **戦略的な国際交渉や国際環境協力に取り組む**という視点を重視すべき

国際ルールづくり、途上国における環境負荷低減支援に戦略的に取り組むことが重要(H24第4次環境基本計画)

- ・海事分野における「IMO(国際海事機関)における国際的枠組づくり主導」と「世界最先端の海洋環境技術開発」の一体的推進
- ・下水道分野におけるISO(国際標準化機構)における幹事国化、国際標準化の主導により、膜処理分野の国際競争力強化

(3) **面的な広がり**を視野に入れた**総合性・連携性**という視点を重視すべき

「都市の低炭素化の促進に関する法律」制定
対策を講ずべき**エリア設定**のもと、**都市・交通・環境エネルギー政策の連携スキーム**

- ・地域の特性に応じた低炭素都市づくり推進
- ・健全な水循環確保
- ・水と緑による生態系ネットワーク形成

(4) 人や企業の行動変容、**参画・協働の推進**という視点を重視すべき

ライフスタイルの見直しなど国民の主体的な行動の促進、**地域の生活に根ざした知恵の活用、多様な組織との連携、協働が不可欠**(H24第4次環境基本計画)

- ・モビリティ・マネジメントによる自動車のかしこい利用の促進
- ・環境負荷の「見える化」の推進
- ・環境教育等による生物多様性の社会への浸透
- ・東京湾再生官民連携フォーラム設置による多様な関係者との連携・協働

(5) **長期的視野**からの施策の立案・実行という視点を重視すべき

生物多様性の保全、地球温暖化対策については、**長期的な視野も踏まえた政策の立案、実行が必要**(H24第4次環境基本計画)

- ・国交省の技術力・総合力を活かした適応策の推進
- ・都市のコンパクト化により生じた緑地の生態系ネットワークへの転換